

『Mind Charging』

第 72 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 6 日

ヘンリー・フォードの名言



Chop your own wood, and it will warm you twice.

自分で薪を割れ、二重に温まる。

アメリカの自動車メーカー『フォード・モーター』の創設者であり、中流階級の人でも購入できるような『大衆車』と呼ばれるカテゴリーの車の開発に尽力した『庶民の味方』とも言える人物です。工業製品の製造におけるライン生産方式による大量生産技術開発の後援者だった“一石二鳥”という合理的に考える彼らしい言葉です。

嫌なことを嫌な気分のままでも取り組んでしまったら、その時間は本当につまらない時間になってしまうと思いますし、『嫌なことをした(させられた)』という記憶しか残らない気がします。何かに取り組む時は必ずエネルギーを消費するわけで、せっかくなら有効に消費したいと思うのは当然のことです。少々無理矢理な考え方であっても、ポジティブに捉えて取り組んでいくことで見えてくるものは随分変わってくるのではないのでしょうか。私たちは今を頑張ることで、忍耐力や努力する姿勢そのものが身につく、将来の自分のためになる力が備わる一石二鳥を実現している途中なのかもしれませんね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ヘンリー・フォード(Henry Ford、1863年7月30日 - 1947年4月7日)は、アメリカ合衆国の企業家、自動車会社フォード・モーターの創設者であり、工業製品の製造におけるライン生産方式による大量生産技術開発の後援者である。フォードは自動車を発明したわけではないが、アメリカの多くの中流の人々が購入できる初の自動車を開発・生産した。カール・ベンツが自動車の産みの親であるなら、自動車の育ての親はヘンリー・フォードとなる。T型フォードは、世界で累計1,500万台以上も生産され、産業と交通に革命をもたらした。フォード・モーターの社主として、世界有数の富豪となり、有名人となった。安価な製品を大量生産しつつ労働者の高賃金を維持する「フォーディズム」の創造者である。フォードはまた、消費者優先主義が平和の鍵だというグローバルなビジョンを持っていた。体系的なコスト削減を強力に推進し、多くの技術革新やビジネス上の革新をもたらした。例えば、北米全土および世界の主要都市にフランチャイズシステムによる販売店網を確立した。遺産のほとんどをフォード財団に遺したが、遺族がその組織を恒久的に運営できるよう手配した。(Wikipedia 参照)